

## 別紙

## 1 施設の管理運営方法に関すること

## (1) 管理運営の条件（利用料金制等）について

## 【収益性】

- 将来的な大幅な利用増を見込むことはできない。（4事業者）

## 【指定管理期間】

- 「性能の向上に伴う設備機器の入替」と、それに伴う「サービス向上」「コスト削減」の観点から5年間または6年間が望ましい。（3事業者）

## 【使用料金制・利用料金制】

- 利用料金制を希望（2事業者）

使用料（公金）より事務コストが低減されることによる「指定管理料の減」や「市の事務処理コストの減」など、市にメリットあり。

- 使用料金制を希望（2事業者）

増収の余地が少ない一方、減収リスクがある。

精算（最低売上の保障等）があれば利用料金制も可。

## (2) 料金体系について

## 【現金】

- 1日最大料金は周辺自治体に比べ安価（1事業者）
- 利用促進につながるのであれば、1日最大料金の区切りを「当日の24時まで」から「入庫後24時間」に変更することを検討してもよい。（1事業者）

## 【定期券】

- 周辺自治体の状況に比べ安価。（2事業者）

値上げによる収益増の余地はある。

## 【プリペイドカード】

- 継続することについて再検討してもよい。（2事業者）

民間では減少傾向。

## 【その他】

- インボイス導入のタイミングで外税への変更を検討しては。（1事業者）

(3) 支払方法について（電子マネーの導入等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>■クレジットカード、電子マネー、QRコード等への対応は可能。（4事業者） 決済方法によっては、手数料等の新たなコストが発生するため、ニーズや利用促進効果を踏まえて検討する必要あり。</li> <li>■高額紙幣対応はニーズに疑問。防犯上も望ましくない（3事業者）。</li> </ul>
(4) 駐車場内設備の更新について
<ul style="list-style-type: none"> <li>■指定管理料の中で対応する。（4事業者）</li> <li>■5年ごとの更新で「機能向上」「省エネ性向上」「コスト削減」を図る。（1事業者）</li> </ul>
(5) 駐車場内外の防犯対策について
<ul style="list-style-type: none"> <li>■24時間の無人運営・遠隔監視を基本とする。（4事業者）</li> <li>*具体的な提案内容は、各事業者のノウハウに係る部分であるため非公表</li> </ul>
(6) 自転車駐車場との一体的な管理について
<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の質が異なるため、相乗効果はない。（2事業者）</li> <li>■仕様が分からず何とも言えない（1事業者）</li> <li>■一体的管理を希望。（1事業者）</li> </ul>
(7) 環境負荷の低減に係る取り組みについて
<ul style="list-style-type: none"> <li>■駐車場で使用するエネルギーは多くは無いため、「駐車場の省エネ」による環境負荷低減は限定的。（2事業者）</li> <li>*具体的な提案内容は、各事業者のノウハウに係る部分であるため非公表</li> </ul>
(8) 自主事業等の実施について
*具体的な提案内容は、各事業者のノウハウに係る部分であるため非公表
<b>2 地域に貢献できる事業等に関すること</b>
*具体的な提案内容は、各事業者のノウハウに係る部分であるため非公表
<b>3 懸念事項に関すること</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■駐車場事業は、機械と土地さえあれば誰でも可能な事業。事業者提案（プロポーザル）で適切な事業者を選定した方がよい。（1事業者）</li> <li>■固定化した定期券利用者が継続利用している現状は不公平感がある。（2事業者）</li> <li>■事業者選定から実施までの準備期間は半年以上が望ましい。（2事業者）</li> </ul>